

第2期中期計画 用語・名称説明

用語・名称	説明	計画No
インキュベーション	新たなビジネスを始めようとしている人や起業に対し、不足する資源(資金、オフィス、ソフトなど)を提供し、その成長を促進すること。また、新規事業の創出や支援を行う活動やサービスを指してインキュベーションと呼ぶこともある。	1
技術移転	本学で創出された研究成果や技術を、他の機関や企業に移転すること。	1
研究シーズ	科学技術研究の種(Seeds)、新たな産業を生み出す芽となる研究や事業化が見込まれる開発研究のこと。	1
大阪国際感染症研究センター	大阪公立大学の様々な分野の専門家が集い、大阪府市、大阪健康安全基盤研究所、企業とも連携した異分野融合型の「マクロ感染症学」を実践し、大都市大阪が抱える感染症対策「メトロポリタンヘルス」の課題に取り組むことで、科学的根拠を国際的見地からも提供するとともに、高度な知識及び技術を修得した感染症対策に携わる人材の育成を行うため設置された組織。	2
大阪健康長寿医学科学センター	増加する認知症高齢者に係る支援及び取組の拠点として、また医学部附属病院等との密接な連携のもと大阪市南部基本保健医療圏における小児・周産期医療の充実を図るべく、研究施設・病院・介護老人保健施設・付属棟(小児・周産期外来等)の施設をもって大阪市住之江区に設置予定の組織。	2
政策共創オープンラボ(仮)	本学が社会から信頼され、行政のブレーンとなる都市シンクタンクとして機能するために、第一層「地域課題の解決」、第二層「都市課題の解決」、第三層「未来社会の描出・創造」を段階的に実施していく中で、第二層の都市課題のため学際的対応を行うバーチャル組織。	2
未来社会創成研究所(仮)	本学が社会から信頼され、行政のブレーンとなる都市シンクタンクとして機能するために、第一層「地域課題の解決」、第二層「都市課題の解決」、第三層「未来社会の描出・創造」を段階的に実施していく中で、第三層の「未来社会の描出・創造」を担うため、50年後の都市(大阪)を描出し、その実現プログラムを考えるバーチャル研究組織。	2
リスキリング	業務上で必要となるスキルに関して学び直しをすること。	3
リカレント	義務教育などを終えている人が必要に応じて「就労と教育」を繰り返すシステムのことを指す。回帰教育や生涯学習とも呼ばれ、それらを誰かからの命令で始めるものではなく、自らの意志で学び直すことを指す。	3
履修証明プログラム	大学等の積極的な社会貢献を促進するため、学生を対象とする学位プログラムの他に、社会人等の学生以外の者を対象とした、120時間以上の一定のまとまりのある学習プログラム(履修証明プログラム)を開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書(Certificate)を交付できるという制度。	3
数理・データサイエンス・AI教育プログラム	文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」に合わせ、文理を問わずすべての学部・学域の学生を対象として提供するプログラム。「数理・データサイエンス・AI」分野を体系的に理解し、幅広い知識を身につけたうえで、自らの専門分野にこれらを活用して社会で活躍できる人を養成することを目指している。「リテラシーレベル」と「応用基礎レベル」という二つのプログラムを提供している。	4, 22
オープンバッジ	国際標準規格の知識・スキル・経験のデジタル証明。Web上で第三者へ共有可能で、共有された第三者はワンクリックで内容証明を検証することができ、真正性が証明できる。	4
3ポリシー (AP, CP, DP)	アドミッションポリシー(入学受入の方針)(AP)、ディプロマポリシー(学位授与の方針)(DP)及びカリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)(CP)のこと。各ポリシーの概要は以下のとおり。 アドミッションポリシー(入学受入の方針)(AP) 能力や適性を含めた大学が求める学生像、および入学受入の実施のための基本的な考え方を示したもの。 ディプロマポリシー(学位授与の方針)(DP) 学位授与の判断のための基本的な考え方として、卒業要件や、育成する人材に修得を期待する能力などを示したもの。 カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)(CP) 教育目標やディプロマ・ポリシー等を達成するために必要な教育課程の編成や授業科目の内容および教育方法について、基本的な考え方を示したもの。	5, 8

第2期中期計画 用語・名称説明

用語・名称	説明	計画No
アセスメント	人やものごとを数値的・客観的に評価すること。	5, 8
市民的公共性	社会的地位に関係なく、全ての人に公開された場で市民が自由に討議できること。	6
起業家精神	起業する人だけに必要な姿勢ではなく、全ての職業で必要となるイノベーションをもたらした新たな価値を創造する思考や行動様式。	6
高年次ゼミナール	専門分野の異なる3年生・M1・D1などが集まる授業として、これまでの自文化・自分野の文脈で解決できなかった課題を他者の文脈・視点・知識と「融合」させて解決へと導けるようにするために初年次ゼミナールを発展させて、開講したもの。	6
副専攻	各学域・学部・学科の主専攻で学んだ専門的な知識やスキルを広く活用しつつ、より幅広い教養を身に付けていくことを希望する学生のための教育プログラム。各学域・学部・学科で行われている専門的な教育プログラムである主専攻の他に、開かれている。	6
トランスファラブルスキル	産業界、アカデミアどこでも役立つ自立した研究、開発者になるための素養。	6
リーディングプログラム	博士課程教育リーディングプログラムのこと。優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業。大阪公立大学におけるプログラム名は、システム発想型学際科学リーダー養成学位プログラム。本プログラムは、複数の分野を広く俯瞰する学際発想力と、分野内の階層を深く統合する階層融合力を併せ持つ、新たなイノベーションにつながる研究戦略を想起できる高度研究人材を育成するための5年一貫の教育プログラムとなっている。	7
アセスメントリスト	教育に関する具体的な評価方法・項目を記したもの。	8
TA	ティーチング・アシスタントの略称。優秀な大学院生が、教育的配慮の下に、学部学生等に対する助言や実験、実習、演習等の教育補助業務を行うことで、大学院生に講義の実施方法や教材作成に関する技能の習得の機会を提供するとともに、これに対する手当ての支給により、大学院学生の処遇の改善の一助とすることを目的としたもの。教育的配慮の下に教育に関する補助業務を行うことを主たる内容とする。	8
FD	Faculty Development の略。教員の能力や資質の開発をする。	8
内部質保証	大学が自律的な組織として、その使命や目的を実現するために、自らが行う教育及び研究、組織及び運営、ならびに施設及び設備の状況について継続的に点検・評価し、質の保証を行うとともに、絶えず改善・向上に取り組むことを指す。	8, 28
ボランティア・市民活動センター	ボランティア活動を通じた学生等の自己発見、市民性の育成、地域の課題解決とより良い社会の実現を目的として設置された、大阪公立大学における教職学協働の全学組織。	9
SOGI	Sexual Orientation and Gender Identity (性的指向、性自認) の略。	9
留学口チューター	外国人留学生に対して、日本語能力の向上を含む学習・研究・生活などの個別支援や助言を行う先輩学生のこと。	10
合理的配慮	障がいのある学生の修学上のニーズに応じて、個別・具体的に変更や調整を行うこと。	10
戦略的研究	本学を特色づける先進的な研究や学術の発展に大きく寄与することが見込まれる研究。	11
URA	University Research Administratorの略。大学などの研究組織において研究者および事務職員とともに、研究資源の導入促進、研究活動の企画・マネジメント、研究成果の活用促進を行って、研究者の研究活動の活性化や研究開発マネジメントの強化を支える業務に従事する人材のこと。	11
若手研究者	40歳未満もしくは博士の学位取得後8年未満の研究者。	11, 12

第2期中期計画 用語・名称説明

用語・名称	説明	計画No
DX	Digital Transformationの略。 企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。	11, 16, 22, 24, 31
研究支援員	研究時間の確保が難しい妊娠・出産・育児・介護の時期にも研究者の職務を継続し研究力の向上を図るため、研究を補助する支援員のこと。	12
メンター	一定以上の経験を持つ人(メンター)が、経験の少ない人(メンティ)に対して行う個別支援活動です。就学上の課題解決を支援するとともに、悩みや問題を解消するためのサポートを行い、個人の成長を支えるもの。	12
総合支援パッケージ	本学において実施する、博士・博士後期課程の学生への経済的支援のこと。大学以外の機関から実施する支援と大学独自制度事業における支援の2つの支援をまとめて総称するもの。	12
国際共著論文	国境を越えた組織間の研究者による共著論文のこと。なお、海外の大学等に所属している日本人研究者との共著も国際共著論文に含まれる。	14
世界大学ランキング	高等教育機関をさまざまな指標によって順位付けした、国際的な大学のランキング。	14
ポータル	学生および教職員向けに様々な情報を掲載する学内サイトのこと。	15
特定機能病院	医療施設機能の体系化の一環として、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発及び高度の医療に関する研修を実施する能力等を備えた病院について、厚生労働大臣が個別に承認するもの。	16, 17
地域中核病院	高度に専門的な知識や経験が要求される等、実施に困難を伴う治験等を計画・実施できる専門部門及びスタッフを有し、基盤が整備された病院として、地域医療の中核を担うもの。	16
トランスレーショナルリサーチ	アカデミアにおいて基礎研究の優れた研究成果を、効率的・効果的に医療としての実用化につなげることを目的として行う、基礎研究から臨床開発までの橋渡し研究のこと。	16
臨床研究	治療薬や医療機器の開発、病気の原因や予防の仕方、新しい治療方法を開発したり、患者のQOL(生活の質)の向上を目的に、人に対して行う医学研究。	16
ICT	Information and Communication Technologyの略。IT(=情報通信技術)の概念をさらに一歩進め、コミュニケーション性を強調して、ネットワーク通信による情報・知識の共有を念頭に置いた表現となっている。	16, 22, 32
医療情報システムセキュリティ	医療に関する患者情報(個人識別情報)を含む情報を取り扱うシステム全般における情報を、外部の脅威から守ること。	16
DPC	Diagnosis Procedure Combinationの略。入院期間中に医療資源を最も投入した「傷病名」と、入院期間中に提供される手術、処置、化学療法などの「診療行為」の組み合わせによる診断群分類。	16
地域医療情報連携ネットワーク	ICTを活用し地域住民に質の高い医療介護サービスを提供するため、患者の同意を得た上で医療機関等において、その患者の医療介護情報を電子的に共有・閲覧できる仕組みのこと。	17
特定行為研修	看護師が手順書により特定行為を行う場合に特に必要とされる実践的な理解力、思考力および判断力並びに高度かつ専門的な知識、技能の向上を図るための研修。	18
外国人修練医師	医療分野における国際交流の進展と発展途上国の医療水準の向上に寄与することを目指し、臨床修練指導医等の実地の指導監督の下に当該研修で診療を行うことを特例的に認められた医療研修を目的として来日した外国医師。	18
MDASHプログラム認定制度	文部科学省の数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度のこと。 数理・データサイエンス・AIに関する、大学・高等専門学校の正規の課程の教育プログラムのうち、一定の要件を満たした優れた教育プログラムを文部科学大臣が認定/選定することによって、大学等が当該教育に取り組むことを後押しする制度。 デジタル社会の基礎的な素養としての初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得することを旨とする「リテラシーレベル」と、自らの専門分野において、数理・データサイエンス・AI教育を応用・活用することができる応用基礎力を習得することを旨とする「応用基礎レベル」の二段階に分かれている。	22
森之宮1.5期キャンパス	2025年秋開所の大阪公立大学森之宮キャンパス(1期)整備に続く、2028年春を目指し整備実施する森之宮キャンパス。	25

第2期中期計画 用語・名称説明

用語・名称	説明	計画No
IR	Institutional Researchの略。①教育研究・経営・財務情報など大学の諸活動に関する情報収集・蓄積②特に学生の学習成果など教育機能についての調査分析③大学経営の基礎となる情報の分析を行い、またそれらの分析結果の提供を通じて、大学の自己評価、意思決定に寄与する活動。	28
認証評価	大学等がその教育研究などの状況について、定期的に、文部科学省の認証を受けた第三者評価機関（大学評価・学位授与機構、大学基準協会等）から評価を受ける制度。	28
BCP	Business Continuity Planの略。災害などの緊急時に、企業や自治体が業務を続けたり、中断しても早期に復旧するための事前計画。	30
PFI	民間資金を活用して公共事業を実施する手法の一つ。民間企業が公共工事の発注者と提携して、建設・運営・管理などの業務を行いながら、一定期間にわたって事業の収益を得る。公共部門の資金不足や技術的な限界を克服し、効率的で持続可能な施設の整備・運営を実現することを目的としている。	第11